

「加入者情報システム説明会」における質問と回答

本説明会の中で行われた質問と回答は次の通りです。

(質問)

「加入者Web端末は社内LANに接続不可」となっているが、複数のPCで使用したい場合はどのようにすればよいか。

(回答)

加入者情報Web端末だけをつなぐ、独自のLANを構築し、これにPCを接続すればよい。

(質問)

当行は、現行の本番機に機能追加を行うことで電子化対応を行う。本番機と開発機では、設置拠点が異なるため、機構との総合テストでは開発機を使用することとなり、セキュリティの観点から、平日・休日に関わらず、本番機をテストに使用することができない(接続確認も不可)。

開発機しかテストに使用できないことは、総合テスト上の制約事項となるのか。また、総合テスト本番機との接続テストでは本番機との接続確認は必須としているのか。

(回答)

総合テストにおいて、参加者が開発機を使用してすべてのテストを実施いただくことには問題はない。本番機の接続確認の必須任意については提示していないが、制度開始時に実際に接続を行う機器及び回線における接続テストは実施いただきたい。セキュリティポリシー等の理由で本番まで本番機で接続しないということが、御社の方針として決定された場合は、制度開始時に接続できなかった場合のリスクは御社側で負っていただくこととなる。

また、稼働直前に最低限接続レベルの確認を本番機を使って実施いただくことになるため、制度開始直前には本番機で接続が必要となる。

(質問)

現在保管振替制度の参加者となっている金融機関は、株式等振替制度稼働を機に間接口座管理機関となることを予定している場合であっても、先行稼働期間に機構と接続するため、2007年10月12日までに回線の申込みを行うことが必要なのか。

(回答)

間接口座管理機関であっても、先行稼働期間中は機構との接続が必要であるが、その実現方法については、直接口座管理機関に業務を委託することなども考えられる。その対応形態に応じ、個別にご相談させていただくこととなる。

(質問)

広域イーサは、敷設完了後も2008年3月までは、NTTによる課金は発生しないのか。また、INS回線はどうか。

(回答)

広域イーサは、敷設完了後も2008年3月まではNTTによる課金は発生しない。利用者が敷設するINS回線は、敷設完了し次第料金が発生する。

(質問)

全面稼働対象の「総合テスト等説明会」は2008年1月開催予定となっているが、テスト要員計画など必要なため、概要だけでも、もっと早い時期に知りたい。

(回答)

各テストの3ヶ月程度前での説明会開催を予定しているが、テストシナリオの調整等もあり、それ以前の情報展開は難しい。

テスト要員計画のために必要なテストシナリオの概要等については、御社が求めるレベルまでは至っていないことと思うが、「問合せ票」で同様の質問をいただくことで、できる範囲内で回答する。

(質問)

計算会社に業務代行をしていて、統合 Web 端末同様、加入者情報 Web 端末もそちらにお願いする予定だが、回線は必要か。

(回答)

計算会社のほうが手続きをしてもらえれば不要である。また、その旨の連絡も今回の締め切り(10月中旬)では不要。総合テストが始まる際には、どのように接続するか等の届出をもらうことになると思う。

(質問)

広域イーサの回線が引けないと連絡があったのですが申込みはどのようにしたらよいか。

(回答)

回線の申込書は全て共通なので、CD-ROMにある申込書にて申込を行って頂きたい。

(質問)

現在、計算会社を利用してファイル伝送を行い、自社内にも統合 Web 端末を設置している。加入者情報 Web 端末を入れるにあたり、光回線と ISDN 回線どちらを選択すべきか基準を教えてください。総合テスト内容がわからないので判定基準のイメージが掴めない。

(回答)

加入者情報 Web 端末で大容量のデータ授受があるのは CSV ファイルのアップロード、ダウンロード機能を使用する場合であり、御社の加入者数に照らし合わせて選択頂きたい。また総合テストの実施要領の開示は10月末を予定しており現段階ではテスト内容はお伝えできないが、大容量データの授受はないと思われるため、本番で利用することを踏まえてご選択頂きたい。

なお社内において複数人数で利用する場合は ISDN 回線より光回線を選択した方がストレスなく利用できるが、計算会社に委託してファイル伝送を行っており、自社内の端末台数も少ない場合は ISDN 回線をご選択頂いても問題ないとする。

(質問)

ISDN 回線を選択した場合の接続先は東京になり、資料中のランニングコストは都内からの費用を示しているのか。また統合 Web 端末のシステムについても変更があるのか。

(回答)

ランニングコストは都内からの接続を記載しているが、現在統合 Web 端末の利用があれば同様の金額が発生すると考えて頂いて問題ない。また新センタ移転に伴い統合 Web システムもリプレイスされるが、会社様のテスト内容にもよるが、基本は ISDN 回線の接続先を変更して接続して頂ければよい。新たな回線、端末の導入は不要である。内容の説明は全面稼働の総合テスト説明会にて実施する予定である。

(質問)

統合 Web 端末を利用しているが、先の質問で ISDN 回線を新たに引く必要はないと伺ったが、10月12日までに申込するという記載もあり、1月までに ISDN 回線を敷設すればよいのか。

(回答)

加入者情報 Web 端末と統合 Web 端末とは全く別のシステムであり、別々にご準備頂きたい。加入者情報 Web 端末については新しく光回線か ISDN 回線を選択頂き申込をお願いしたい。統合 Web 端末については現在利用している回線をそのまま利用して頂ければよい。統合 Web 端末に係るご説明は来年1月末に予定している説明会で説明させて頂く予定である。

(質問)

同じサーバで T A 用の接続も、機構加入者用の接続も行う予定である。その場合、広域イーサは2セット申込まないといけないのか。

(回答)

1セットでよい。

以上